



# 至誠の泉

甲斐市立双葉中学校  
学校だより  
発行 校長 興石 信  
令和5年度 第10号  
2023.10.19

## 新チーム始動。若い力が躍動しました。

### ～中巨摩地区新人大会（10/12・14）～

秋晴れの下、10/12(木)・14(土)の両日、中巨摩地区新人大会が各会場で実施されました。1・2年生にとっては、3年生引退後の初めての公式大会となりました。

#### ○ 新人チームらしい、爽やかな戦いぶりでした

当日、いくつかの会場で生徒の競技の様子を参観しましたが、どの会場でも、新人チームらしい、緊張感と初々しさのある、爽やかな戦いぶりがたくさん見られました。また、真剣な眼差しでボールを追う姿、仲間のミスに「ドンマイ」と温かい声をかけたり、チームのピンチに大きな声を出し士気を高めたりする姿に、一体感を感じるとともに、スポーツのもつ良さを改めて感じました。



男子ソフトテニス  
団体優勝旗です!

#### ○ 主な結果です（※陸上部以外は団体の成績のみ紹介します）

- ・男子ソフトテニス部：団体1位・県大会出場、B・Cトーナメント3位
- ・女子ソフトテニス部：団体3位・県大会出場、B・Cトーナメント3位
- ・剣道部：団体女子1位 ・柔道部：団体男子2位 ・女子バレー部：7位
- ・女子バスケ部：7位・卓球部：団体男子5位、団体女子7位
- ・陸上部：2年女子800m 1位・NJさん、2位・SNさん、  
女子1500m 2位・HAさん

1年女子800m 2位・1500m 2位・ORさん、女子走高跳び2位・KAさん

- ・サッカー部：グループリーグ敗退 ・野球部：初戦敗退 ・男子バスケ部：初戦敗退



サッカー vs 押原中

※上記の他、男女ソフトテニス、柔道、剣道、テニスでは個人での活躍も多く見られました。（詳細は学校ホームページにあります。そちらをご覧ください。）

#### ○ 振り返りを大切に

現在、中間テスト取組期間で部活動が小休止となっています。1，2年生の皆さんは、活動が再開する前に一度立ち止まって、今回の新人大会を一人一人がよく振り返ってください。「学校だよりNo5」（6.16 支部総体まとめ）でも触れましたが、皆さんは、それぞれが個人やチームとして目標を立て勝利のために一生懸命頑張ったことと思います。しかしその一方で、チャンスで力を発揮できなかった自分、大事な場面で勝ち切れなかったチームなど、様々な課題が見えてくると思います。ぜひ、できたこととできなかったことを整理し、できなかったことは「なぜ、できなかったのか」、その原因を考え、「できなかった」を「できる」に変えていく方法や取組を考え、実行してください。以前も紹介しましたが、『目標を立て(Plan)、実行し(Do)、振り返り(Check)、改善に取り組む(Action)』、この一連の過程を「P・D・C・A」サイクルと言います。



女子バスケ vs 玉穂中

#### ○ 「点」を「線」に。そのために「PDCAサイクル」を。

新人大会という緊張感の中で自分の心と戦いながら勝利に向けて頑張ったこと、この体験そのものに大きな価値があります。教室では学べないことだからです。しかし、更に一歩進めて、体験を次に生かしていくことが更なる成長へとつながります。「体験」という一つ一つの点を「成長」という揺るぎない太い線にしてください。そのために必要なのが「P・D・C・A」サイクルです。この習慣を身に付けておくと、自分自身の成長が実

女子バレー vs 敷島中



感できるため、勉強でも生活でも大変役立ちます。ぜひ、日々の生活の中で、「P・D・C・A」を意識し実行してください。

保護者の皆様、各会場でたくさんの応援をありがとうございました。生徒の背中を押す大きな力となりました。今後ともよろしくお願いたします。

## 中学生が小学生に実技指導をしました。

～小学校陸上記録会に向けて～

10/17(火)の放課後、本校の陸上部と野球部



長距離走の指導

の2、3年生が双葉東小と双葉西小の6年生に陸上の実技指導を行いました。これは、甲斐市立小学校陸上記録会に向けた練習の一環として、小中連携の視点から、毎年本校が実施しているものです。例年は各小学校に本校生徒が出向く形で実施していますが、今年度は西小が校舎改築工事を行っていることから西小の6年生は本校の校庭で練習と中学生からの指導を受けました。その様子を見学しました

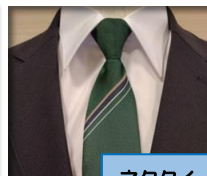
が、どの種目においても生徒がこれまでの自分自身の経験と専門性を生かしながら、実演も交えながら丁寧な言葉でわかりやすく小学生に指導をしていました。「さすが中学生」と感じる頼もしさでした。小学生の表情も真剣で、中学生の言葉をきちんと受け止め練習に生かしている様子がたくさん見られました。また、東小の先生からは「中学生からの指導を通して、中学生が恐れ存在ではなく、憧れの存在になった」と賞賛の言葉をいただきました。皆さんの指導を受け、東小・西小の児童は24日の本番できっと自己新記録を目指してそれぞれが頑張ってくれるものと思います。陸上部・野球部の皆さん、ありがとうございました。



短距離走の指導

## 【お知らせ】『第3の制服(男女共用制服)』の導入について

7月の三者懇談の折に展示し保護者の方からご意見いただいた『男女共用制服』ですが、その後、生徒及び職員からからの意見の集約を経て、概要がまとまりました(生徒には9月中に説明を終えています)。以下の通りです。



ネクタイ



エンブレム



ボタン

(呼称) 第3の制服 (男女共用制服)

・現行の男子制服、女子制服に加え「3つめの制服」という意味で「第3の制服」(男女共用制服)と呼ぶ。

(導入理由)

○ジェンダーフリーの観点から

・社会におけるジェンダーフリーの考え方の高まりを受け、学校においても不要な性差による区別をなくし、「一人の人間として在る」ことを尊重するため。

○機能性・活動性の観点から

・現行の女子制服は、学校生活の清掃等の場面において活動しにくく、暑さにも対応が難しいため。

○多様性の観点から

・自身の性別に違和感を持ったり感覚過敏により詰襟が着られない生徒等が出てくるのが想定されるため。

(導入時期) 令和6年4月(令和6年度)

(取扱い)

- ・男女とも、現在の男女別制服と「第3の制服」の2種類からどちらかを選んで着用する。
- ・新生入生を対象とするが、在校生であっても「第3の制服」を希望する場合は購入・着用してかまわない。

(その他)

- ・「第3の制服」の導入をきっかけに、ジェンダーフリーや多様性について学習する場を設ける予定です。
- ・価格や購入方法、販売店等の情報については、後日改めてお知らせをする予定です。